

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人 大和健康CLUB		
○保護者評価実施期間	令和8年2月17日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎回、楽しめる支援内容にして工夫しています。利用者、が次回が待ち遠しいと感じるところです。	・支援内容のマンネリ化することのないように、リーダー指導員を変えたり、前回の振り返りを生かし、バリエーションを加えています。	・個別の楽しみを把握したり、どの遊びを楽しんでいたかを把握し、的確に確実に楽しめるようにしていきます。
2	・利用者の気持ちを精一杯受け入れ、一緒に参加することから安心して遊べます。	・利用者の発信を最初から否定(拒否感なく感じられる)でなく、思いをくみ取り実現させています。	・ご本人の発信を反映し、ご本人の体験から感じるものをどんどん身につけて、確実に経験値を上げ自信をつけていきます。
3	・毎回の保護者の参観により、保護者からの確実な情報を常に入れられたり、コミュニケーションを図ることで、信頼関係を築きます。	・保護者に積極的に指導員からお話(お子さんの様子・悩みことなど)を聞く体制や支援の参加型も含め、こどもたちも楽しんでいます。	・保護者どうして、充実した空間を作ることで、保護者の方も安心や気晴らしになる機会を作っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者の気持ちを落ちつかせる空間(部屋)の周知ができていないや女子の更衣室も確保が必要です。	・職員も利用者もお部屋の目的意識をもっていないです。	・お部屋の目的意識を職員からもち、利用者に周知していく必要があります。
2	・指導員によっては、楽しさに流され、利用者の気持ちを汲み取れてない場面もあります。	・楽しさとは、別の要因と捉えられたり、利用者の内面にあまり目を向けてない時があります。	・毎回の振り返りの中で、その日の利用者への接し方を題材にして、全体で具体的な関わり方を共有していきたいです。
3	・毎回の支援の「ねらい」が、あいまいに感じられます。	・楽しさの追求ばかりで、支援のねらいの具体的な共通認識が	・定期的なアセスメントやスキルリストなどを活用し、全体で共有実践していく。